

3年 | 池田 絵理子 さん [鳥取県立鳥取東高等学校 出身]

AOは自分の熱意を伝えられるチャンス

身寄りのないお年寄りをご近所みなでお世話するような温かい地域で育った私。「地域に貢献できる人になりたい」と進路を模索する中、自分が何を学ぶかが一番見えたのが鳥大の地域政策でした。高3最初の個人懇談の時、地域に対する熱い思いを担当の先生に話すと、「そこまでの考えを持っているなら」とAO入試を勧めてくれたんです。早速、受験の準備を開始。地域政策についての知識を増やすため、新聞やニュースを見て気になる言葉を短冊に列挙、「これとこれを組み合わせたら地域活性化につながるのでは」と考える時間を作りました。この方法は面接や課題論文にも応用でき、すごく役立ちました。

人に惑わされない“自分づくり”が大切

面接は瞬間の勝負だから、やはり練習が大事。高校最後の文化祭の真っ最中も、放課後に残って先生と特訓。おかげで自信が付きました。本番では、とにかく自分を出し切ることに専念。最初は面接官の目線が厳しかったのですが、話すごとに表情がにこやかになり、手応えを感じました。スクーリングはメモを取ってもOK。次の課題論文につながる講義なので、自分の中に「入れる」感覚で講義に集中。論文は、いかに自分に置き換えて表現できるかがポイント。詰め込みすぎて軸がぶれないよう心がけました。AOで大切なのは“自分づくり”。周りの意見に惑わされない意志を持っていれば、何があっても怖くありません！

アドミッション・ポリシー

AO入試で求める人物像

募集人員(予定)：6人

【趣旨】多角的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献できる人間の育成を目標としています。このため、自ら学ぼうとする学習意欲を持つ人を、様々な観点から総合的に評価するためAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する意欲ある人を求めます。

- 様々な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人
- 地域の様々な資源を効果的に活用し、発展させるための提言ができるようになりたい人



鳥取のお気に入り

街と人の“温かさ”にホッ

鳥取の澄んだ空気と街の優しい雰囲気が大好き！どこに行っても自然がたっぷり、心のリフレッシュができます。顔を見かけたら必ず声をかけてくれる人の温かさも心に染みますね。

平成25年度AO入試第2次選考＜選抜のポイント、面接・論文等の出題例等＞

平成25年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。平成26年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。なお、AO入試の過去問題は、平日9:00～17:00に入試課（鳥取キャンパス）で閲覧できます。

全体を通して求める力

自らの地域の発展に貢献できるキーパーソンに成長するための、地域の諸問題への高い関心や行動力、あるいは問題解決に取り組むユニークな発想力とリーダーシップなどが求められます。

スクーリング、課題論文	スクーリングは、本学科教員による地域政策に関する講義とその内容についての質疑応答を行いました。課題論文は、スクーリングのテーマを踏まえた設問について出題しました。スクーリングの内容を理解し、自らの身近な問題と結びつけて発想し、自分の考えを交えて論理的に課題に答えているか、それらを適切に表現できているかという点などについて評価しました。なお、平成25年度入試のスクーリングのテーマは「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」についてでした。
グループディスカッション	グループディスカッションは、受験者を小グループに分け、グループ毎に討論を行いました。設定された課題に対する自分の考えを論理的に述べることや、他の受験生の意見などを聞いた上での意見のやり取りなど、多面的に評価しました。
個人面接	個人面接では、志望動機や地域政策学を学ぶ意欲、個人アピールなどを質問しました。面接時間は約20分間でした。